発行者:こじま歯科医院

熊本市北区武蔵ケ丘 5-13-15

7 : 096-337-3640





>皆様の「ありがとう」が私たちの活力です

院長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。 本年もよろ しくお願い申し上げます。

さて先日、中村勘三郎さんが亡くなりました。食道 がんの手術後に併発した重篤な肺炎が原因だったそ うですが、がんの転移でなければ手術のダメージと抗 がん剤による免疫の低下によるものでしょう。

がんの手術は基本的にがんとその周辺を予防的に 大きく切り取ります。そのため体への侵襲が大きく、 かえって予後不良になることも考えられます。やは り、生体に外科的侵襲を加えるということは相当なダ メージになります。もちろんがんの大きさ、転移の有 無等によってかわってきますが。

むし歯の治療もこれとまったく同じで、むし歯菌に 感染した部分を中心に予防的に少し大きく削りとる ことが主体となります。

もちろん削り取る部分が最小限になるように色々な 努力はしていますが、生体に外科的侵襲を加えている ことは否定できません。

そしてこの延長線上に「神経を取る」という治療が でてきますが、これはもうほとんど外科処置といって も過言ではありません。ですから、できれば避けたい と考えております。

そんな中、最近むし歯をほとんど削らず中から無菌 化して直していく治療法を導入しました。1年ほど前 にテレビでも紹介されていたものです。これにより、 神経を取ることも減少していくと期待しております。 ただ、これはどなたにでも効く魔法の治療ではありま せん。今までの半分くらいは通常の治療になると思い ます。それと、アメリカから直接導入しているので保 険外の治療になります。

しかし、いずれにしてもこれまでよりも体に侵襲の ない治療ができると考えております。

今年は「抜かない」「取らない (神経を)」「削らな い」の「三ない主義」を徹底していきたいと考えてお ります。

院長:小島 博文



千賀子のオススメ!料理

『すり身とキャベツのシャキシャキ焼き』

材料

魚のすり身・・・1 パック キャベツ・・・1/4個 ソース・・・マヨネーズ、ケチャップ、

お好み焼きソースなど

作り方

☆ 魚のすり身に千切りにしたキャベツを混ぜ、 両面をフライパンで焼く



本日ご紹介する料理は超時 短料理です。味がついている ので調味料いらずでお酒の 肴にもおかずにもなる万能 料理です。簡単なのでぜひ作 ってみてください!

私の一押しタレは「お好み焼 きソース」です★



衛生士:桐原



お好みのソースをかけて出来上がり♪